

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業給付書

事業名	防災マニュアル作成と要配慮者避難訓練
事業主体 (連絡先)	阿智村 (0265-43-2220)
事業区分	(4)安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	332,200 円 (うち支援金: 265,000 円)

事業内容

20集落の自主防災組織及び防災マニュアル作成の取組の予定であったが、新型コロナウイルス蔓延により、6集落を実施するにとどまった。防災訓練を令和4年8月に実施する予定であったが、実施することができなかった。

- ・上中関区自主防災組織・防災マニュアル作成(4集落)
- ・中平集落自主防災組織・防災マニュアル作成
- ・昼神集落自主防災組織・防災マニュアル作成



【 住民協議の様子 】

【目標・ねらい】

事業効果

①6集落と自主防災組織・防災マニュアルの協議を行うことができ、また、会場には防災グッズ展示も行ったことで、住民も災害が起きたらどうしたら良いか真剣に取り組むことができ、防災意識の高揚が図れた。この事業が話題となり、自治会、集落、福祉施設、学校などから防災講習会の要請も増加し、効果が実感できた。

②令和4年8月には防災マニュアルに沿った訓練はできなかったが、新型コロナウイルス収束に向かった令和5年2月に「こまんばの輪」の要配慮者避難誘導訓練を実施することができた。訓練には車椅子、リヤカー、担架による階段を使用した搬送訓練を行った。

③阿智第3小学校における「小学生への防災教育」が学科2回、実家2回実施でき、実科では車椅子＋JINRIKIを活用した避難訓練、パーテーション、ベッド組立を含む避難所設営訓練を行い、教育委員会への防災意識高揚のアピールができた。

①公助依存意識払拭・要配慮者避難対策

②20集落の組織・マニュアル作り

③住民70%以上の公助意識払拭

※自己評価【 C 】

【理由】

20集落の組織・マニュアル作りを目標に掲げて取り組んだが、6集落作成できたのみであり、住民の51% (昨年度も含め) 公助意識払拭にとどまってしまった。

今後の取り組み

来年度も自主防災組織・防災マニュアルが未完な集落へ引き続き入り、この取り組みを全集落完了するまで行っていく。防災マニュアルに沿った訓練を実施し、問題点を洗い出し、マニュアルに反映しより良い物にしていく。自治会、集落、福祉施設、学校へ防災講習会を行い防災意識高揚に向けて働きかける。